

カテゴリ: サステナビリティ

 2023年6月16日
 第 23026号

 サステナビリティ
 誰もが
 豊かさと希望を
 感じられる
 未来を創ります

シェル・アビエーションとSAFの調達に関する契約を締結し、 ロサンゼルス国際空港で搭載する燃料をSAFに置き換えます

JALは、Shell(シェル)社の航空燃料部門であるShell Aviation(シェル・アビエーション)と、2025年から米国ロサンゼルス国際空港にてSAF(Sustainable Aviation Fuel: 持続可能な航空燃料)を調達する契約を締結しました。本契約による調達量により、2025年からロサンゼルス国際空港で搭載する燃料をSAFに置き換えることとなるとともに、GX戦略の目標の一つである「2025年度に全燃料搭載量の1%をSAFに置き換え」を達成する見込みです。

なお、今回調達するSAFは、通常のジェット燃料と比較して75%以上のCO₂排出量を削減することが可能となるもので、年間4.7万トン以上のCO₂削減につながります。



JALグループは、2050年のCO₂排出量実質ゼロに向けた目標として、2021年5月に「2030年度に2019年度対比でCO₂総排出量を10%削減」を掲げ、その達成のために2025年度に全燃料搭載量の1%、2030年度に10%をSAFに置き換えることを目指しています。

今後も、2030年度に全燃料搭載量の10%をSAFに置き換え、そして2050年のCO₂排出量実質ゼロを達成すべく、海外ではワンワールド アライアンスメンバーと共同でのSAFの調達も進めるとともに、国内ではSAF官民協議会への参画や「[ACT FOR SKYの活動](#)」を通じ、業界の垣根を超えたオールジャパン体制で国産SAFの安定的な量産化・商用化および普及・拡大に取り組み、航空のカーボンニュートラルを促進してまいります。

以上

